

三野 みのしんぶん 新聞

第14号

藤沢市議会議員
みのゆみこ



民生常任委員会副委員長
都市整備特別委員会委員
早稲田大学商学部卒
元電通ヤング&ルビカ社員
国体ヨット競技2回出場
1987年ウインドサーフィン全日本
選手権第3位
発行：立志の会（会派）三野由美子
〒251-0035
藤沢市片瀬海岸3-15-6

HP: <http://y-mino.net> E-mail: mino@y-mino.net

ついに「生活環境条例」制定へ！ ポイ捨て、吸殻のないきれいなまち、そして 犯罪機会の少ない安全・安心なまちを目指して。

藤沢市議会平成19年2月定例会の民生常任委員会において、市から「(仮称)藤沢市きれいな環境づくり条例の検討状況について」という報告が行なわれました。

内容は、環境美化や迷惑行為の防止に関する条例策定の進捗状況や骨子案、市民アンケートの結果報告などです。

現在、「たばこの吸殻や空き缶等のポイ捨て」「歩きたばこ」「飼い犬等のふんの放置」「公共施設への落書き」「静穏を害する深夜花火」について、快適な生活環境確保を目指して条例案を策定中で、平成19年6月議会に提出する予定です。罰則規定が設けられ、路上喫煙禁止区域も指定されます。

4年前、市民の皆様様に市政に押し上げていただき、初めての一般質問で生活環境条例のことを取り上げました。ところがその時は「来訪者がとまどうので、市毎にではなく県条例で作るべき」という全く理解できないような理由で、市は検討すらしないという姿勢でしたが、その後何度も「きれいなまちは、安全なまちになる」と、割れ窓理論を議会で訴え続けました。

その間、先進市の成功事例がマスコミ等で注目を集め、条例を制定する市町が増え、藤沢市の庁内研修でも研究され、同僚議員達も度々議会で取り上げるようになりました。アンケートにより市民の要望も浮き彫りにされました。こうした様々な背景等が後押しとなりやっとここまで来たのだと思います。

先進市に比べて慎重すぎる、なぜこんなに時間がかかるのかとは思いましたが、今後はきれいで安全なまちを実現できるように、この罰則付き条例の実効性を高めることを求めてまいります。

(裏面は「湘南国際マラソンを機会に」)

平成17年度政務調査費収支報告

収入 (円)

政務調査費(107,000x12ヶ月分) 1,284,000

支出(使途基準の項目にしたがって分類)

研究研修費	156,348
調査費	237,470
資料作成費	67,661
資料購入費	286,424
広報費	349,863
その他の経費	184,442
合計	1,282,208

残額(全額返還) 1,792

政治献金は、企業献金 個人献金
共に一切いただいておりません

青少年を薬物から守れ！

9年ぶりに実態調査を実施

藤沢地区薬物乱用防止推進地域連絡会が平成9年に調査して以降行なわれていなかった、青少年の薬物汚染に関する実態調査を平成17年6月議会でも求めたところ、昨年実施されました。

現在集計中で、近いうちに結果が公表される予定です。

情報通信機器の普及発達等により社会状況の変化が加速する中で、青少年を薬物から守るためには、実態を把握し、実情に即した対策を講じてゆく必要があります。

今後は調査結果を活用した対策を市に提言してまいります。

湘南国際マラソンを機に、134号線の景観形成と環境整備を

3月18日に行なわれる第1回湘南国際マラソンは、高橋尚子選手も出場予定です。フルマラソンはもちろんのこと、10キロコース、障害者の部や、市民ボランティアの運営参加等の話題性も高く、テレビ放送も予定され、あらためて湘南海岸が国内外から注目を集めることになりそうです。

コースは江ノ島水族館前をスタートし、二宮で折り返して江ノ島ゴール。浮世絵などにも描かれて日本人に長年愛されてきた江ノ島や富士山といった風光明媚な景観と合わせて、新たな観光資源として、健康的で明るい湘南江ノ島の更なるイメージアップに取り組むべきです。

ところが、江ノ島や134号線沿線は、市の景観計画の中で藤沢の顔のひとつに位置づけられているにもかかわらず、違反屋外広告物を始めとした景観上の問題、また、松林の中にテントや様々なものが積み上げられ過去にボヤ騒ぎがあったなど、環境・安全上の問題があります。県、市の管理責任に対して、複数の市民から私のところに苦情が寄せられていました。

テレビを通しての観戦者だけでなく、有名選手を一目見ようと集まるギャラリーに対しても市のイメージダウンになってはいけません。このビッグイベントを機に、屋外広告物の指導やホームレスの自立支援など、できるところから改善するべきと考え、2回に渡って一般質問で取り上げました。

神田計画建築部長: 藤沢市景観計画の中で、国道134号及びその沿道の町並みは積極的に景観形成を進める。特に建物の色彩は独自の色彩基準を設け、規制誘導を図っていく。国道134号、湘南海岸公園や湘南海岸は、景観法に基づく景観重要公共施設の指定へ向けて神奈川県と協議を行う。(9月定例会答弁)

久世助役: 国道134号沿線には多くのホテル、飲食店、物品販売店舗等があり、神奈川県屋外広告物条例に基づかない無届けのものや、基準面積を超えるものがある。平成16年度から指導を行い改善されてきているが、引き続き是正指導を行う。10年に同条例が改正され基準が強化された結果、既存不適格となった屋外広告物については、許可の更新手続き時に通知し、現行基準に是正するよう指導する。今後も引き続き、調査・指導を重ね、国道134号線の湘南海岸地区にふさわしい景観形成を図るとともに、周辺の環境や景観に十分な配慮を行うよう是正指導をする。砂防林内等の不法占有者に対しては施設管理者である県土整備部と連携し、退去指導、生活指導などを積極的に進め、自立の援助とともに地域の安全安心の確保に向けて努力する。(12月定例会答弁)

湘南国際マラソンは、市民や民間の力を中心に、行政は側面支援を行なうという方針です。民度が高いと言われるこの湘南の地域力をさらに高める機会になるでしょう。しかし、行政の行なう側面支援は、民間事業者や市民が十分に力を発揮できるように、関係機関と連携して環境を整えるものであるべきです。こうした行政のあり方は、湯布院のように評価の高い観光地に共通しているようです。藤沢市はこの点が明確ではないと感じ、議会で続けて取り上げたところ、答弁の中に前向きな姿勢が見られるようになりました。今後も進捗状況をご報告してまいります。

みのゆみこ 5つの基本政策

1. 行財政改革・情報公開

税金の無駄遣いがないように監視し、効率よく透明性の高い自治体経営を提案します。

2. 子育て支援

保育所の待機児解消、地域力の充実で、子育てしやすい環境整備を提案します。

3. 福祉・医療

介護予防をはじめとする高齢福祉、障害者福祉の充実を提案します。

4. 環境保全とまちづくり

海、川、里山の自然環境保全と、乱開発抑制の住環境保全、繁華街や夏の海岸の環境浄化を提案します。

5. 教育改革

学力向上と優しい心を育む開かれた教育を目指し、学校選択制や少人数授業、ティームティーチングの充実を提案します。

政治献金ゼロ！
クリーン&オープン！
藤沢発、日本再生！



編集後記

TVや新聞で、毎日のように花粉症対策の特集が目につく季節となりました。田舎育ちは花粉症にならないといふ会社の先輩の言葉を長年信じ、瀬戸内で育った私には縁がないと思っておりましたが、一昨年のスギ花粉大量飛散の頃から目に炎症がおこるようになりました。かつて悩まされたアトピー性皮膚炎が、花粉がきっかけとなって25年ぶりに顔に発症したのです。特に朝はひどく腫れて、スギ花粉以外のものにも通年反応するようになり、駅頭で三野新聞の配布ができない日が続いたことをお詫び申し上げます。今では食事と漢方薬の体質改善を中心に、弱い抗アレルギー剤とステロイドを使い、炎症と腫れが落ち着いています。私の場合はこの程度の症状ですが、最近の子供たちには、シノック症状までおこすような深刻な食物アレルギーも増加しているそうです。あらためて様々なアレルギーの悩みを抱える子供たちや保護者の方々のことを思いました。対症療法だけではなく、環境政策をはじめとした根本的解決を目指した研究と対策が、行政に求められていると考えました。